

健康 ぷらざ

化学物質過敏症

企画：
日本医師会

No. 550

指導：ふくずみアレルギー科 院長 吹角 隆之

原因・悪化因子は何か

化学物質過敏症は、空気中を漂う化学物質を吸入することにより症状が出る病気です。患者の3/4は女性で、30歳～50歳代に多く見られます。

原因・悪化因子となり得る具体例を表1に示します。これらを短期間に大量に吸入する、あるいは少量でも長期間吸い続けると、化学物質過敏症を発症する可能性があります。もちろん、誰でもが発症するわけではありません。アルコールの代謝に個人差があるように、化学物質を代謝する能力には個人差が大きいからです。

どのような症状が出るのか

症状は多彩で、化学物質や人により異なります。主な症状を表2に示します。いったん発症すると、同じ化学物質を微量でも吸入すると症状が出てしまうようになります。さらに別の種類の化学物質でも症状が出るようになり、反応する化学物質が次々と増えていくことを多種類化学物質過敏症といいます。ここまできると日常生活に大きな支障をきたします。

「化学物質過敏症」の存在を知ることから

化学物質過敏症だと気づかずに、症状ごとに受診して病院を転々としても、診断がつくことはまれです。病院にも化学物質が多く、症状が出て受診できないこともあります。

診断されて治療を始めるには、患者自身と医師が、「化学物質過敏症ではないか?」と気づくことが何より重要です。さらに、化学物質過敏症に対する家族、医療関係者、行政、職場や学校の理解と協力が欠かせません。理解してもらえただけでも、患者の気持ちはずいぶん楽になります。

表1 化学物質過敏症の発症・悪化要因となるもの

分類	関係する場所・場面	具体例
においのするもの	生活全般	芳香剤、香水、香料(洗剤、柔軟剤、アロマ、化粧品、ハンドクリーム、シャンプー)、制汗剤、消毒剤、漂白剤、塩素
においを消すもの	生活全般	消臭剤
虫や微生物などを殺すもの	屋内外	農薬、シロアリ駆除剤、防虫シート、殺虫剤、防虫剤、防腐剤
草を枯らすもの	屋外	除草剤
有機溶剤	新築の建物、家具、生活全般	接着剤、塗料、マニキュア、インク(印刷物)
かそ可塑剤、難燃剤	屋内	ワックス、塩化ビニル(壁紙)、プラスチック、防災カーテン
燃焼物	屋内	たばこ、石油・ガストーブ、線香
	屋外	排気ガス、火事、工場・ごみ焼却場などの煙突の煙、野焼きの煙
工事現場等	新築・改築・修繕工事 解体工事、防水工事、道路工事	建築資材、粉じん、ブルーシート、アスファルト
その他	産業廃棄物処理場・野積み	悪臭
	屋外	黄砂、PM2.5

「においのするもの」はいわゆる「香害」の原因となり、**赤字**は高頻度で要因となりますが、表内の全てが要因となる化学物質を発生するわけではありません。

表2 化学物質過敏症の主な症状

においに敏感、
頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛、
風邪のような症状、微熱、
動悸、呼吸困難、
目がチカチカする、まぶしい、目の焦点が合わない、
鼻炎、鼻血、
記憶力・思考力・集中力低下、不眠、
皮膚のかゆみ、
下痢・便秘、月経異常、不正出血、
イライラ、怒りっぽい、不安・うつ・パニック障害

